

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/0100/0100.html>

各部の名称



- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- リューズの引き出し位置は2段階あります。

「年差±1秒」とは

この時計の時間精度は、年差±1秒、すなわち1年間での時間の進み/遅れが1秒以内です。これは、一般によく見られるクォーツ時計の時間精度(月差±15秒)とくらべ、高い時間精度を持っていることを意味します。

年差±1秒の意味

年差±1秒のずれは、短期間の微小なずれが単純に積み重なっていくものではありません。例えば、「年間のずれが±1秒以内だから一日のずれは±1/365秒以内だ」ということではありません。

使用状況や環境の変化などにより、時計の精度は細かく変動します。その変動を一定の間隔で絶えず補正することによって、全体として一年間でのずれを1秒以内に収めている、というのが「年差±1秒」の意味です。

時間精度を保つために

日常生活の中で、クォーツ時計の時間精度に恒常的にもっとも大きな影響を与えるのは温度の変動です。

環境による温度変化の影響を最小限に抑え、年差±1秒という時間精度を保つために、この時計では一分間ごとに温度変化に対応した補正を行っています。

しかし、極端な温度環境下で使用した場合や、温度の大きな変動があった場合には、補正しきれず誤差が1秒を超えてしまうこともあります。

時計をご使用の際には、以下の点にご配慮ください。

- 時計の使用状況や環境による温度変化
- 時計に強い衝撃を与えない
- 時刻合わせを正確に行う

また、定期的なメンテナンスをお勧めします。

快適にお使いいただくために

この時計の高い時間精度を保つためには、次の点を心掛けてご使用ください。

- 1日12時間程度身につける
- 使用中も保管時でもできるだけ安定した温度環境(+5℃～+40℃)を保つ
- 充電警告機能が働かないよう、毎日短時間でも充電する

手首に巻いた時計に意識的に光を当てるようにすれば、12時間のご使用で十分な充電量を維持することが可能です。

できるだけ身につけてご使用ください。

時差を設定する

時針だけを1時間単位で動かして、時差のある地域の時刻を表示させることができます。

- リューズの位置を②にしてしまうと、秒針と分針も止まります。ご注意ください。

1 リューズの位置を①にする

秒針は止まりません。

2 リューズを回して、合わせたい地域の時刻になるよう時針を合わせる

3 リューズの位置を②にする

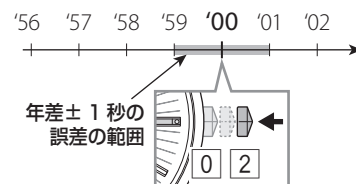
時刻を合わせる

時刻合わせの前に

この時計は、時刻合わせの際のわずかなずれでも、時計の遅れや進みとして長期間保持します。

インターネット上の時刻情報を参照し、適切に時刻合わせを行なってください。

例) 00秒に合わせる場合のタイミング(時刻合わせの手順3)



1 秒針が0秒を指しているときに、リューズの位置を②にする

2 リューズを回して、時刻を合わせる

3 00秒に合わせて、リューズの位置を①にする

年差±1秒で時計が動き始めます。

00秒ちょうどに合わせられなかった場合

00秒からのずれを含んだまま時計が動作するため、1秒以上のずれがあるように見える場合があります。

